

議 事 録

会議名	釧路市障がい者自立支援協議会 第2回権利擁護部会		
事務局	釧路市障が福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター		
開催日時	令和元年11月20日(水) 13:30～14:30		
開催場所	釧路市役所 防災庁舎5階会議室A		
出席者	委員	7名	
	その他	なし	
	傍聴者	なし	
	事務局	釧路市障がい福祉課～白山、島、林 釧路市障がい者基幹相談支援センター～金子、布田 (敬称略)	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 意思決定に関するケーススタディ (2) その他 5. 閉会 		

議 事 内 容

1. 開会

2. 挨拶

釧路市障がい者自立支援協議会 権利擁護副部長 宮嶋 譲

3. 議事

(1) 意思決定に関するケーススタディ

- ・家族全員が障がい者であり、家族間で虐待が発生するという事例を基に、以下のとおりポイントを絞り多業種連携による支援方法や、かかわり方など事例を深めて意見交換を行った。

①障がい者同士の家族でのいさかい（暴行が発生した場合）について

(意見)

- ・関わりが深い支援者が中心となり調整していく。環境によっても変わるが、全体をコーディネートする立場が必要。
- ・本人の自立の他、家族の自立の課題も検討することが必要。
- ・本人と家族で感じている距離感に違いがあるため、それぞれに合った関わり方が必要。
- ・切り口をどこにするかによっても方向性が変わる。

②本人意思がぶれてしまう（本人意思を汲み取ることが難しい）障がい者の意思決定支援について

(意見)

- ・関係機関も共有しながら見守りを継続していくことが必要だが、現状維持となる場合も考えられる。
- ・根気強く選択肢を与えながら意思決定を促していくことが大事ではないか。
- ・理想と現実のギャップに、本人自身が気付いて行動することが出来るような促しが必要。

③金銭管理について

(意見)

- ・成年後見制度の利用について検討する。
- ・家族による金銭的虐待という視点を考えながら検討する。

※今後もケーススタディを行う機会があれば、意見交換や情報共有などを行なっていく。

(2) その他

- ・次回の権利擁護部会は令和2年2月開催予定。議事としては、来年度の役員改選の検討になることを説明。

以上